



麻布幼稚園だより

令和3年10月号
港区立麻布幼稚園
園長 酒井 正美

秋ならではの空の色や雲が見られるようになり、涼やかな季節となってきました。今年の仲秋の名月は満月となり、美しい月を楽しんだご家庭も多かったのではないのでしょうか。まだまだ月が美しい季節、月の満ち欠けの様子なども楽しんでいきたいですね。幼稚園の柿は、少しずつ色づき始めています。秋が深まっていく季節、子供たちと身近な秋を見付け、楽しんでいきたいと思えます。

先日は感染症予防をしていただいたの分散参観に、ご協力ありがとうございました。「日頃の様子を見ることができ安心しました。」「朝の支度の様子や好きな遊びを自分からする姿を見て、家とは違う幼稚園での子供の姿を見ることができました。」「当番の仕事をする様子を見て、成長したなと思えました。」といった感想をいただきました。今月は親子スポーツデーが予定されています。学級や学年の中での姿も見ていただき、保護者の皆様と子供たちの成長を共有することで、さらなる成長につなげていければと思います。

幼稚園では、子供たちに毎日元気に登園し、たくさん遊んでほしいと願っています。楽しく遊んでほしいと思っています。ですが、一人ひとりが好き勝手にやりたい放題なことをしていることが楽しく、ではありません。幼稚園教育において育む内容が国から示されている「幼稚園教育要領」の中に、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の一つとして、「道徳性・規範意識の芽生え」という項目があります。

- ・他の幼児と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことがあることが分かり、考えながら行動するようになっていく。
- ・相手の気持ちに共感したり、相手の視点から自分の行動を振り返ったりして、考えながら行動する姿が見られるようになる。
- ・きまりを守る必要性が分かり、友達と一緒に心地よく生活したり、より遊びを楽しくしたりするために、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。

幼児には難しいことのように感じられるかもしれませんが、幼稚園の遊びや生活の中には、これらの姿につながる出来事が日々繰り返されています。幼稚園では、自分のことは自分でする構えがもてるように、成長に合わせて、自分の手で生活に必要なことが行えるようにしています。遊びの中では、思いが高じて相手を叩いてしまうといったことも起こります。ですが、どんな思いや理由があっても相手を叩くことはいけません。叩いてしまった行動は振り返って謝り、どうすればよかったのかを、お互いに考えられるようにしています。友達に気持ちを受け止めてもらえたいうれしき、思うようにならない葛藤、相手の気持ちを分かろうとすることや自分の気持ちに折り合いをつけることなど、友達がいるからこそできる経験があります。

子供たちの心は、友達との気持ちのぶつかり合いや、楽しく遊ぶためにどうしたらよいのか考えを出し合い、うまくいったりいかなかったりを日々繰り返し経験することで、少しずつ育っていきます。大人が言葉で伝えたからと言って、一足飛びに成長をすることはできません。自分の物は自分で持つ、自分が使った物は自分で片付けるなど、当たり前のことを当たり前にできるようにすること、してはいけないことは、そのまま流れはぐらかされることなく、その時々にしっかし伝え、自分の行動を振り返ることができるようにしていくことは、自律の基礎となります。葛藤する場面では、気持ちを受け止めたり共に考えたりしながら、子供が気持ちを切り替えたり、自分で考え行動することを支えてあげたいと思えます。

この時期、各学年それぞれに友達とのかかわりが深まり、遊びや生活が充実していきます。一人ひとりが成長したからこそそのトラブルや葛藤も起きることでしょう。成長のよい機会ととらえ、お家の方と子供たちの姿を共有していければと思います。